＜＜ Coffee break Talk.15 “ Smile “ ＞＞

支部長　今林光秀

九州支部会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。2020年9月2日に始めたCoffee break Talk.ですが本号で最終回となります。1回目の当時、コロナ禍により支部活動もままならず、支部HPも全く動きなく、息苦しい異常事態の中、少しでも支部会員皆さんの気持ちを和ませることはできないかと始めました。普通でない時だからこそ普通でないことにチャレンジできるのではないか、コロナ禍がなかったらやっていなかったかも知れないと考えると自分にとっての小さなチャレンジ、コロナ後のありたい姿とあるべき姿をさらに見つけていきたい、と第2回で書きました。果たして、それを見つけられたのでしょうか。。

最終回だからと言ってカッコイイ内容で締めようなどと無用な色気は出さず、いつも通り平常心で書くことにします。この平常心の大切さが、改めて見つけられたものなのかも知れません。

●特別展　はにわ

九州国立博物館で開催中の展覧会を2月に妻と見に行きました。これがとても良かったんです。

[埴輪：挂甲(けいこう)の武人]

本展覧会最大の目玉
国内外の５体が初めて
一堂に会したそうです

[埴輪：踊る人々]

これも有名ですね
本当に踊っているのかな
宇宙人に見えなくもない

埴輪は古墳時代の日本特有の器物で、祭祀や魔除けなどのため古墳の墳丘などの上に並べ立てられたもので、3世紀後半から6世紀後半にかけて造られました。実はここ数年は埴輪ブームだそうです。
写真などでは埴輪を知っていましたが、会場で本物を目の前にすると感じ入るものがありました。
1500年前の日本人の感性の豊かさと、何とも言えない優しさに、なにか心が洗われた気がしました。
その理由としてどれも笑顔なんです。挂甲の武人も顔をよく見ると優しいうっすらとした笑顔をしている。
踊る人々はこれが笑顔なのか絶妙ですが、本物を見たら笑顔で、見る我々をも笑顔にさせてくれます。
笑顔には魔よけの効果があるとされており、邪気を払い･死者の魂を鎮め･死者が悪行をしないように
埴輪たちが見守っているとの説明が会場に書かれてありました。　笑顔は本当に大切なんですね。
ヘラヘラした作り笑いではなく、心情が表れた真の笑顔は忘れてはいけない尊い人間の振る舞いです。
人々が笑顔を失い、マスクで笑顔も見えなかったコロナ禍はつい5年ほど前のこと。そのようなことがまた起こらないとも限りませんが、1500年前の先人の教えを大切に、笑顔を大切に生きたいです。

[埴輪：笑う男子]

5年間の長きに渡り、つたない投稿にお付き合い頂き誠にありがとうございました。
皆様のこれからが笑顔溢れる良き時代となりますようにお祈りして筆をおきます。
これからも一九州支部会員として皆様と共に笑顔でがんばります。

「 2025年3月9日　やり遂げたぞぉ～っ！のCoffeeは格別に美味い☕ 」